

# CMI許容値を適用する場合の考え方

2012/1/13

高速電力線通信推進協議会

CMI許容値として、屋内PLC相当 ( $CMI_{QP} = 30\text{dBuA}$ ) が妥当であると考える。

シミュレーションによる放射妨害は $40\text{dB}\mu\text{V}/\text{m}$ という結果が得られたが、シミュレーションは以下のパラメータで実施した。

	解析	実環境
コンセントのLCL	16dB(ワーストケース)	配線上に不平衡が無く、平衡度劣化要素がない
コンセントのCMZ	25Ω	屋内コンセントより高い位置に配置されるため、屋内コンセントよりCMZは大きい
大地面の導電率	完全導体(導電率無限大)	湿地または乾地の導電率を適用すべき※

※大地の導電率は実環境を考慮したシミュレーションを実施中で、次回提出する。

